

2-1分科会

	質 疑	回 答
1	熊本の住宅の紹介例は、坪単価は、どのくらいですか。	おおよそ100万円/坪
2	熊本パッシブハウスの窓のタイプを教えてください。	アルミクラッド木製サッシトリプルダブルLow-Eガラス、 樹脂サッシトリプルダブルLow-Eガラス
3	先ほどの家の坪単価がざっと知りたいです。 また停電の時も換気扇は止まらず可動するのでしょうか？	停電では機械は止まります。そんなときは窓開け換気に対応します。 熊本PHでは近い将来オフグリッド化を目指していて、たくさんのPVパネルも載せています。 停電時でも対応できるようになります。
4	江藤先生は、産廃処理場に行かれたことがありますか？	ないです。
5	環境に配慮したパッシブハウスですが、建材の選択も吟味されているとは思いますが、産廃処理場では廃材となったグラスウールがそのまま山に埋められています	その通りだと思います。 それ故使う材料はなるべく産廃にならないような物を吟味しています。 ただし、熊本PHでは、PH認定が初めての経験でもあり施工指導を受けられること、と地域で初めての事例なのでメーカーより特価一部無償での納入特典を受けられることなど、おとなの事情でグラスウールを使いました。 本来グラスウールは再生可能な材料です。そのサイクルシステムはメーカーの責任において構築するべきと思います。
6	建物を作ることはゴミをも作ると思います。 パッシブハウスやバウビオロジーの考え方の延長で、産廃処理場の現状をどのように憂慮し、対策を考えられているのか教えてくださいと思います。	普段使っている断熱材はセルロースファイバーかウッドファイバーです。 外部仕上げは板張り、漆喰塗り、ガルバリウム鋼板張り。内部は床：無垢板、天然リノリウム、コルクタイル。壁・天井：板張り、漆喰塗り、珪藻土塗り(バインダーがケミカルでないもの)、ウッドチップ入りの紙クロス。 接着剤もセルロース由来の物を指定。塗装はもちろん自然塗料・オイルです。 選べるアイテムがあまり多くなく、お客さまには最初にお断りしています。
7	暖房エネルギー需給の説明の中で、南側窓からの各地の需給比較→冬場の自然エネルギー比較は理解できましたが、夏場の比較がなかったようでした。近年の気象条件の中で必ずしも南側窓が有効ではないように感じていますが、いかがでしょうか。	お示ししたのは外皮性能だけで内部環境が決まるわけではないという一例です。 もちろん夏のシミュレーションも行いまして一番条件の良い窓の取り方・大きさを検討します。 周囲環境と気候などにより一概に言えることではないので、一軒毎にシミュレーションを重ねて最適解を求めます。
8	今まで電磁波は気にしていませんでした。勉強になりました。	ありがとうございます。 まだ何も感じていない方でも電磁波に暴露され続けると過敏症になる可能性は誰にでもあります。 なのでできるだけ暴露されない環境を提供するようにしたいです。